

かがわ里海づくりパートナー活動報告

令和8年5月8日

香川県知事 殿

所在地 香川県坂出市室町二丁目3番5号
名称 坂出市
代表者職・氏名 市長・有福 哲二

かがわ里海づくりパートナー登録制度実施要綱第10条の規定により、年間の活動状況について報告します。

主な里海づくり活動内容	参加人数
<p>【アマモ場再生講座の実施】</p> <p>6月にかがわ里海大学協議会が主催、本市が共催となり、アマモ場再生講座を実施しました。香川大学創造工学部の末永教授らによるアマモ場の役割などに関する講義の後、実際にフィールドワークを行い、アマモ場の観察や種取り体験を行いました。</p>	親子 25名程度
<p>【香川大学と連携した藻場の再生・創出事業】</p> <p>令和6年2月に締結した、本市と香川大学との藻場の再生・創出に関する覚書に基づき、藻場造成構造物を沈設する実証事業を開始しました。昨年度に引き続き、令和7年度には7月に番の州地区の護岸沿いへ10基、11月に小与島沖へ5基を追加で沈設しました。沈設した構造物には小型生物の着生促進機能や、着脱可能部分を他の海域における同型の構造物へ移植することによる新たな藻場造成機能があります。今後も実績結果を考察しつつ、事業の拡大を図り、藻場の再生・創出に取り組んでいきます。</p>	大学関係者・地元漁業協同組合・市職員など20名程度



<p>【海ごみを活用したワークショップ等の開催】</p> <p>12月に本市が主催の「さかいでゼロカーボンふえす」を初めて開催しました。さかなクンによる海と環境に関するトークライブや、かがわガイド協会による「海ごみを使っていきものを作ろう！」と題したワークショップを取り入れるなど、「海」という切り口で地球温暖化や脱炭素を家族で気軽に学べる機会を提供することができました。</p>	<p>全市民</p> 
<p>【ハブラシのリサイクル活動】</p> <p>本市とライオン（株）、ライオンケミカル（株）オレオケミカル事業所の3者で取り組んでいる「キレイキレイのまち坂出プロジェクト」の一環として、ハブラシリサイクル活動を行っています。使用済みハブラシをゴミとして捨てるのではなく、回収し、再生プラスチック製品として再利用する環境保護活動です。令和7年度は公共施設や学校など36カ所に回収BOXを設置し、使用済みハブラシ64.3kg（約6,430本）を集めることができました。</p>	<p>全市民 全職員</p> 
<p>【使い捨てコンタクトレンズ空ケースの回収事業】</p> <p>本市とHOYA（株）アイケアカンパニーは令和5年11月に協定を締結し、本来はゴミとして廃棄される使い捨てコンタクトレンズの空ケースを回収し、ボールペンなどの再生品として新たに生まれ変わるリサイクル活動に取り組んでいます。令和7年度は65.82kg回収することができました。また、リサイクル業者に買い取ってもらう際の対価を、公益財団法人日本アイバンク協会に寄付することで、社会貢献の役割も果たしています。</p>	<p>全市民 全職員</p> 
<p>【ボトル to ボトル事業】</p> <p>令和6年10月に締結した、本市とサントリーグループの協定に基づき、使用済みペットボトルを資源に、再び新しいペットボトルを生産する取り組みを推進しています。従来の生産方法に比べCO2を約60%削減することができ、資源循環や地球温暖化の抑制に貢献しています。</p>	<p>全市民</p> 

【ワンウェイプラスチック削減・マイボトルで利用できる給水機の設置】

本市では、海洋プラスチックごみの原因となっているペットボトルなどのワンウェイプラスチック製品を削減する取り組みを行っています。坂出市庁内プラスチックスマートアクション方針を策定し、市が主催する会議等ではペットボトル飲料の提供を取りやめるなど庁内一丸となり取り組みを推進しています。

また市内にマイボトルで利用できる給水機を屋内型11台、屋外型2台設置しており、令和7年度は少なくとも約53,000ℓ利用され、500mlペットボトル約10.6万本分の削減をすることができました。



全市民
全職員